

白神の絆



【発行】林野庁 東北森林管理局
津軽白神森林生態系保全センター

住所：〒038-2754 青森県西津軽郡鰹ヶ沢町大字米町 25-2

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

親子木工教室を開催

10月19日（土）～20日（日）の2日間、西目屋村白神山地ビジターセンターにおいて「ビジターセンターふれあいデー」が開催され、当センターは親子木工教室のコーナーを担当しました。

初日は、悪天候で肌寒い日となったせいから、来場者も数少なくなってしまったことから第1回目の参加者は親子5組という寂しいスタートとなりましたが、佐々木所長から木とのふれあいを感じる機会にしてほしいこと、材料は青森県内で生産された間伐材を使用していることを説明した後、早速工作を開始。工作を始めると熱気が高まりカナヅチの音も勢いよく響きはじめました。

2日目は秋晴れの快晴に恵まれ、多数の来場者があり、最終の4回目は予定20組のところ23組となり賑やかな親子木工教室を実施することができました。参加された方からは「子供と一緒に木にふれることが楽しかった」「クギを打つ事がないので良い経験になった」「このイベントをもっと増やしてほしい」等の声があり、今後も関係機関と連携したイベントにおいて木の良さを感じてもらえるよう継続していきます。（小倉）



熱気あふれる工作風景

かわいいお客さんが来所してくれました

11月15日（金）、鰹ヶ沢町こども園の園児9名が働く人たちに感謝するため、町内の官公庁等の施設を巡回する行事で、当センターにも来てくれました。

園長先生より「働いている大人の皆さんが元気になるよう、園児の歌をプレゼントしたいと思います」との挨拶があり、大きな声で歌ってくれました。その後、園児手作りの絵をいただき、佐々木所長からは感謝の挨拶とともに、センサーカメラで撮影した動物の画像を見せると、園児たちは「クマ！」「うさぎ！」と大きな声でお返事していました。また、ニホンジカの角にも手を触れさせると、園児たちは珍しそうにはしゃいでいました。



動物の画像に興味津々

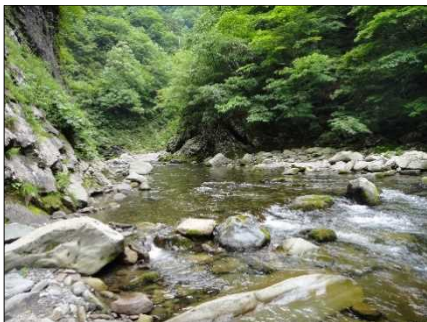
鰹ヶ沢こども園においては、当センターと津軽森林管理署共同で毎年5月にプランターへ花を植える「花いっぱい運動」を支援しています。この支援については、来年度においても同様に実施します。（小倉）

【不定期掲載：巡視活動の合間に・深浦エリア】

津軽白神山林生態系保全センターでは、白神山地における自然再生活動や中・大型哺乳類調査等の業務を行っていますが、それと併せて白神山地での巡視活動も実施しています。巡視活動では、違法行為等が行われていないかの確認や、入山者にマナー向上に対する協力の呼びかけをしているところです。年間を通じて巡視活動を行っているところですが、白神山地のエリアでは、入山シーズンである6月から11月末まで行っています。巡視の合間に何となくシャッターを切る機会が多々あるわけですが、よくよく考えてみると四季を通じての写真が撮れていたりするところです。

写真データのほとんどは、陽の目を見ることなくお蔵入りに（涙）、それだと勿体ないと考えますので少しではありますが、今回は深浦エリアで撮影した写真をお披露目したいと思います。

まずは、追良瀬川（電力堰堤上流部）から



初夏の追良瀬川。川の遡行も気持ち良い時期でもある



晩秋の追良瀬川。正面に天狗岳を望む。



追良瀬川沿いの堆砂地で見られたカモシカの蹄跡。

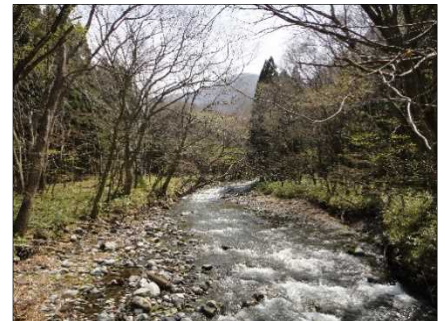
次は、笹内川（電力堰堤上流部）とその他を。



初夏の笹内川。周辺の山々は緑に覆われる時期。



晩秋の笹内川。10月末の撮影で紅葉も終盤の時期。



早春の津梅川。木々もまだ芽吹いていない状態。



初夏の津梅川。早春の撮影から1カ月後の光景。



春の日差しを受けるカタクリ。深浦某所にて。



偶然見かけたホトトギス。深浦某所にて。

今回は、深浦エリアで撮影したものをご紹介します。

今後も各種事業や巡視活動の際に撮影した季節ごとの風景など、本誌を読んだくださる皆様へお届けしたいと考えていますので、ちょっとだけご期待ください。（クオリティーの低さはご容赦を）（三浦）